

市政一般質問発言通告書 (会派代表・個人)

令和 8 年 2 月 20 日

多治見市議会 議長 様



会派名 オールたじみ

20番議員 氏名 石田 浩 司

質問題名	広域ごみ焼却施設整備における汚泥処理・残灰処分の在り方について
質問要旨	広域ごみ焼却施設整備は、令和6年5月に3市で協定を締結し、現在は処分地を決定し、基本構想の策定が進められている。新施設は令和19年度の供用開始を目標としています。 焼却施設の整備は単に「燃やす施設」を新しくすることではありません。重要なのは、その過程で発生する汚泥の処理方法、そして焼却残灰や溶融スラグの最終処分の在り方です。
質問項目①	汚泥処理の方針 これらを施設内で処理・資源化するのか、外部委託とするのか。 肥料や発電、セメント原料化などの広域資源循環スキームを採用するのか。 令和19年度の供用開始を目指すのであれば、基本構想段階から処理方式の方向性を明確にする必要があると考えるがいかがか？
質問項目②	焼却残灰の処理方針 残灰の処分先はどこを想定しているのか。 最終処分場の受入能力は将来にわたり安定的に確保できるのか。 広域施設であるからこそ、3市で責任を共有する最終処分計画を早期に示すべきではないか？
質問項目③	
質問項目④	
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長・環境文化部長・建設水道部

市政一般質問発言通告書 (会派代表・**個人**)

令和 8 年 2 月 20 日

多治見市議会 議長 様



会派名 オールたじみ

20番議員 氏名 石田 浩司

質問題名	開庁時間見直しプロジェクトの進捗と導入時期について
質問要旨	<p>開庁時間見直しについては「プロジェクトを立ち上げ、検討を進める」との答弁されております。</p> <p>これは、働き方改革の推進、時間外勤務の縮減、持続可能な行政運営に向けた前向きな一歩であり、私はこれを高く評価しております。</p> <p>しかしながら、市民・職員双方にとって重要な制度変更であるからこそ、今後は「検討する」段階から「いつ、どのように実施するのか」という具体段階へ進める必要があります。</p> <p>そこで以下、導入促進の立場から質問いたします。</p>
質問項目①	<p>進捗状況とスケジュールについて</p> <p>現在のプロジェクトの進捗状況はどこまで進んでいるのか。</p> <p>検討スケジュールは示されているのか。</p>
質問項目②	<p>問題点について</p> <p>現在、市として整理している主な問題点は何か。</p> <p>最大のハードルは何だと認識しているか</p>
質問項目③	<p>残業削減と財政効果</p> <p>現在の時間外勤務の実態と、開庁時間見直しによる削減見込みはどの程度試算しているか。財政効果について概算でも検討しているか。</p>
質問項目④	<p>市民サービスとの両立策</p> <p>多治見市における電子申請、コンビニ交付の拡充などの対応は来庁時間帯データの分析などは行われているのか？</p>
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長・企画部長・総務部長・市民福祉部長